

皆さんに役立つ防災情報を紹介します

# 防災ノススメ

●問い合わせ…危機管理課(☎39-1227)



## 第3回目は「防災の日」

マグニチュード7.9と推定される関東大震災が、大正12(1923)年9月1日11時58分に発生しました。この地震は、近代化した首都圏を襲った唯一の巨大地震です。死者・行方不明者は105,385人、全壊家屋は293,387棟と伝えられています。また、この地震を教訓に、国民の防災意識を高めるため、昭和35(1960)年に国は、毎年9月1日を「防災の日」に決めました。なお、この日は、「二百十日」と呼ばれる雑節の一つでもあり、暦の上では厄日として記されていて、立春から数えて二百十日目ごろの台風の襲来が多くなる日といわれています。

また、日本は諸外国と比べ、災害が多い国といわれています。19世紀後半には、世界各地を植民地にした欧米諸国などが日本に開国を求め、安政元(1854)年に日本は開国しました。しかし、その直後から、「安政の大地震」との総称で呼ばれる地震が日本列島で立て続けに起こり、さらに、安政6(1859)年には江戸大水害も発生しました。地震や水害の経験が少なかった欧米諸国の人々は、日本の災害に恐怖し、こういったことが日本が欧米諸国の植民地にならなかった理由の一つともいわれています。

日本では、近年、災害が増えていますが、過去の教訓を生かして、一人ひとりが防災対策を心掛けましょう。

### 関東大震災と阪神・淡路大震災、東日本大震災の比較

	関東大震災	阪神・淡路大震災	東日本大震災
発生日時	大正12年9月1日11時58分	平成7年1月17日5時46分	平成23年3月11日14時46分
大きさ(マグニチュード)	7.9	7.3	9.0 (日本国内観測史上最大)
最大震度	震度6	震度7	震度7
津波被害	あり	なし	あり
人的被害	死者	6,434人	18,131人
	行方不明者	105,385人	3人
	負傷者	103,733人	43,792人
建物被害	全壊	104,906棟	129,391棟
	半壊	372,659棟	144,274棟
	一部破壊		390,506棟

(参考：国土交通省『国土が抱える災害リスク』)